

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和07年06月20日(金)

事務事業		家庭教育事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73143	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	共に学び成長が実感できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	家庭教育だよりまごころ作成委員会要綱					
	小項目	2	家庭・地域・学校の連携と協働による教育力の向上							
	主要プロジェクト									
事業概要		家庭教育の啓発と家庭・地域の教育力の向上のため、幼児・小学生・中学生をもつ家庭と地域住民を対象として、家庭教育だより「まごころ」を年3回発行し配布することにより、家庭教育の重要性に気づかせることができる。また、親が親として育ち力をつけるため、「親の学習」講座を実施する。								
目的 ※何のために		家庭教育の啓発と家庭・地域の教育力の向上のため								
対象 ※誰・何を対象に		幼児・小学生・中学生を持つ家庭と地域住民								
手段 ※どのように		家庭教育だより「まごころ」の発行・配布								
成果 ※何を求めるか		家庭教育の重要性に気付かせ、また、親が親として育ち力をつける手助けを行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(幼小中教職員等)								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	家庭教育事業【生涯学習スポーツ振興課】	113,049
本事業の 主な業務		・「まごころ」編集委員会の開催					・			
		・「まごころ」の配布(年3回)					・			
		・家庭教育講座(小学校就学時健診時)の開催					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

※令和6年度は決算見込み額です。

単位: 円

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催	・「まごころ」発行(年3回編集委員会の開催・「親の学習講座開催			
事業費	予算(現額)	95,000	95,000	127,000	127,000	
	決算額	94,897	87,682	113,049	0	
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
人件費	他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	94,897	87,682	113,049	127,000	
人件費	従事職員数(人)	0.48	0.73	0.48	0.74	
	人件費相当試算※	3,777,388	5,847,421	3,946,676	6,310,587	
総事業費試算		3,872,285	5,935,103	4,059,725	6,437,587	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	まごころ年間発行回数	目標値	回	3.00	3.00	3.00				
		実績値		3.00	3.00	3.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 2	まごころ年間発行部数	目標値	部	19,500.00	18,000.00	18,000.00				
		実績値		19,000.00	18,000.00	18,000.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		H27年度以降は回覧形式に変更している。 / R5以降は1回6000部発行							
	実績値の算出式									
活動指標 3	「親の学習」の開催回数	目標値	回	29.00	29.00	29.00				
		実績値		12.00	18.00	17.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市内全29の小中学校での「親の学習」開催を目標に設定している。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	「親の学習」参加者数	目標値	人	1,050.00	1,035.00	1,014.00				
		実績値		658.00	1,001.00	1,012.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所		小学校新入学児童保護者全員が「親の学習」に参加することを目標とする。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	家庭教育だより「まごころ」は、編集委員（学校関係者等）の協力のもと、年3回（8月・11月・3月）発行し目標を達成した。また、児童生徒のタブレット端末を活用し、紙面の電子データを保護者に配信した。「親の学習」講座については、学校に協力をいただき、就学時健診を実施した小学校19校のうち17校で実施できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	「親の学習」講座の参加者数（1,012人）は、目標値（1,014人）に近い数値となっている。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	家庭教育だより「まごころ」を電子媒体で保護者へ提供し、より効率的・効果的な家庭教育の啓発に努めている。また、「親の学習」講座への参加を促すため、講座のPR動画を制作し、保護者が気軽に講座へ参加してもらえるよう工夫しているところである。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦